

アールインバーサテック

株式会社

所在地:東京都千代田区神田和泉町 1-7-5

町田ビル 2F-B

業種:

TEL:03-3864-0140



マテリアルリサイクルが可能な分離・回収システムの開発

微粉化された樹脂と紙(あるいは繊維などの異物)の混合物からそれぞれを「マテリアルリサイクル(元々の物性、例:塩ビは塩ビとして、紙は紙として分離・回収)」を可能にしたシステムの開発。

本業の動向について

壁紙など(樹脂+紙)複合樹脂廃材のリサイクルシステムの設計、開発、製造、販売。取引先(大口)にこげ付が生じ、一部縮小、事業譲渡など再建中。

公設研究機関との連携事業について

連携先公設研究機関の名称

地方独立行政法人 東京都産業技術研究センター
多摩テクノプラザ

所在地

東京都昭島市東町 3-6-1

連携内容

微粉化された樹脂と紙(あるいは繊維などの異物)の混合物からそれぞれをマテリアルリサイクル(元々の物性、例:塩ビは塩ビとして、紙は紙として)可能なように分離、回収する。

連携した動機やきっかけ

約10年前に繊維の研究者だった樋口明久博士と出会い、以来指導を受けている。(共同で特許も出願している)

連携の効果

すでに、廃塩ビ壁紙リサイクルシステムにおいて共同で第8回新機械振興賞において中小企業長官賞を受賞している。(平成23年2月)

連携して最も効果のあったこと

紙や繊維などの専門家による助言は、弊社のような機械設計と物づくり技術を主要業とする企業にとっては、貴重であった。

連携して最も困難だったこと

特になし。関係は極めて良好である。

連携するメリット・デメリットについて

連携の効果の答えの様にメリットは大きい(特に特許との出願などにも有利)。デメリットとしては特にな

し。

連携に際しての注意、アドバイスなど

専門家の先生方に思いのタケを述べることつきると思います。何をしたいかを誠実に伝えることにより確実に協力関係が強まると思います。

公設研究機関との連携で行政に望む支援

すでに東京都から助成金(約1,500万円)の他、都振興公社より同公社のファンドを通じて転換社債5,000万を購入、投資を受けており、十分に配慮していただいている。

会社概要

設立:1991年6月10日

資本金:1億14万円(払込済)

従業員数:7名

URL:<http://www.rinvtec.com/>